

若者の定住対策を図れ



酒匂 守議員

酒匂 守議員 本町出身の若者は、学校を卒業と同時に都会に流出し、過疎と高齢化が益々進行する。地域の活性化は、若者の定住によって發揮され、維持される。若者が夢を持って定住できる、魅力あるまちづくりこそ、本町に課せられた緊急永遠の課題であるが、対策は。

北村町長 あらゆる施策を講じてきており、なかでも就業の場の確保としての工業団地の整備により、十一社で八九三人の雇用がある。その他住宅

団地や宅地分譲、担い手や後継者の確保対策の一環で、結婚祝い金制度等に取り組んできた。若者の定住対策は重要課題で、就業の場の確保が第一義と考えている。

企業誘致の 支援策拡大を

酒匂議員 企業誘致が最も効果的であるが、今の経済情勢では誘致は困難が予想される。地場産業の育成と企業誘致の支援策の拡大を図り、進出しやすい条件整備が必要と思うが。

町長 支援策の拡大については、今後、合併問題もあり、研究課題としたい。

北薩広域公園の 利用状況は

酒匂議員 町民が最も期待をし見守ってきた広域公園が、四月に一部オープンした。この公園をいかに活用し、本町の活性化にどう生かすかは、本町に与えられた責務であると思うが、利用状況は。また、紫尾山頂公園等と

の連携した活用策は考えられないか。

町長 オープン後、七か月を経過した。関係団体の協力を得て、ものづくり体験の指導者の派遣やイベントの開催、特に竹細工教室等の協力により、十一月末時点で入園者数十一万三、六〇〇人となっており、約八割が町外

の入園者と推計している。また、連携した活用策については、北薩の霊峰紫尾山は重要な観光資源であり、その他の公園等と有機的に結び、ルート化した活用を図ってきたい。

いきいき楽習プランの 推進状況は

酒匂議員 楽しく学び、健康で心豊かな人生と健やかな地域社会を目指した「楽習プラン」の推進状況は。

福留教育長 十三年度が初年度で、推進会議や本部会議、ワーキンググループとなる幹事会を設置して、推進態勢を整備して、出前講座等の新規事業にも着手した。今年度は、総合振興計画のソフト事業を中心に、「健康」をキーワードに、楽習プランの基本方針に沿って、全庁的な取り組みで推進を図りたい。



北薩広域公園で定期的に行われる五ツ太鼓演奏会